

紙風船



◆ 節分、立春、春がそこまで…。



2月に入りました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、年度末の3か月はあっという間に過ぎていきます。進級や卒業を控え、学校も何となく気ぜわしくなってきたような感じはありますが、まずは落ち着いてまとめの学習に取り組み、雪害にも気を付けながら生活するよう励ましているところです。

3日は二十四節気の一つ「節分」でした。1・2年生の教室を覗いてみると、日本の伝統行事「豆まき」をして、心の中の鬼を追い出していました。どんな鬼を退治したいのか、一人一人が書いた紙を見てみると、「なまけおに」や「ねぼうおに」、「イライラおに」などが多かったです。「えんぴつの持ち方がわるいおに」や「しせいかわるいおに」、「やさい食べないおに」など書いている子どももいて、「へえー、そうなんだ。気にしてるんだな。」と新たな発見もありました。



4日は立春でしたが、明日からまた寒波がやってきて気温がグッと下がるという予報が出ています。残念ながら、春の足音が聞こえてくるのはまだまだ先のようですし、雪に関する痛ましい事故のニュースも連日報道されています。週末は、子どもも大人もみんな安全第一で過ごしましょう。

◆ 「紙風船上げ」へのご協力をお願いします



「上桧木内の紙風船上げ」が来週火曜日に迫りました。子どもたちが制作した二つの紙風船が、空高く舞い上がるのは、夕方5時頃の予定です。

今年も立派な紙風船ができました。見所は、「ミヤクミヤク」と「高市総理の似顔絵」です(写真)。楽しみにしててください。

ご家庭の皆様には、送迎等でご難儀をおかけしますが、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。

